

ウォーターニュースあまがさき

ウォーターニュースあまがさき 第7号/平成11年12月

発行:尼崎市水道局 〒660-0051尼崎市東七松町2丁目4-16 TEL:06(6489)7402

2000年を安心して迎えるために

激動の1900年代もあとわずか、新しい千年紀の始まりがすぐそこまできています。しかし、2000年代の始まりには大きな問題の発生が予想されます。コンピュータ西暦2000年問題です。



コンピュータ西暦2000年問題とは

かつて、コンピュータのプログラムや各種機器に組み込まれているマイクロコンピュータの多くは、西暦年の処理を下2桁で行っていました。これらのプログラムやマイクロコンピュータが西暦2000年になると、年の処理を「00」で行いますが、これを「1900年」と誤って認識したり、ゼロや空白と認識したりすることによって、誤作動や異常停止を起こす可能性があります。これが「コンピュータ西暦2000年問題」です。

尼崎市水道局の取り組み

尼崎市水道局では、コンピュータ西暦2000年問題を重要な問題と考え、局内に「コンピュータ西暦2000年問題水道局対策本部」を設置し、対応に当たっています。

尼崎市水道局には、料金計算や開閉栓の管理を行うコンピュータシステム（「業務系システム」といいます。）及び浄水場での水処理施設及びポンプ設備等の管理を行うシステム（「制御系システム」といいます。）があります。このうち、水の供給に直接関わる制御系システムについては、日付情報によるシステム管理を行っておりませんので、水の供給には影響ありません。また、水道料金等の計算を行う業務系システムについては、料金算定期間の計算、請求書発行の日程等に影響が出ることが考えられますが、10月末にすべてのプログラム修正及び模擬テストを終了し、影響がないことを確認しました。

一方、市内の約9割の水道水を供給する阪神水道企業団も、コンピュータ西暦2000年問題についての対応を終えておりますので、水の供給に影響が生じるとは考えられません。

水道局の対策の詳細な内容につきましては、総務課（TEL:6489-7402）へお問い合わせください。

万が一に備え、水の備蓄を!

国は、コンピュータ西暦2000年問題について、大きな問題が発生することはないとしながらも、地震等と同じような災害への備えとして、2、3日分の飲料水の備蓄を呼びかけています。



皆様のご家庭でも、不測の事態に備え、水道水の備蓄をお勧めします。

水道局がお勧めしている非常災害時の飲料水の備蓄方法は、次のとおりです。

- ① ポリタンクなど口を密封できる容器の中を2、3回水道水できれいに洗う
- ② ①の容器に、空気が入らないように注意して水道水をいっぱいまで入れる
- ③ 水を入れた日にちをメモした紙を貼る
- ④ 直射日光の当たらない冷暗所に保管する（容器が半透明等光を通すもの場合は、黒いビニール袋等で光を完全に遮断してください。）

この方法で保管すれば、1週間程度は飲料用にも十分使用できます。ただし、一度開けた容器の水はその日のうちに、その後は煮沸して使用してください。

なお、2000年1月1日に使用する飲料水は、前日にバケツ、なべ、やかんなどご家庭にある適当な容器に水道水をためておき、これを煮沸して使うことでも十分対応できます。また、お風呂や洗濯機に生活用水をためておかれると安心です。

年末・年始の対応

水道局では、不測の事態に備え、1999年12月31日から2000年1月1日にかけて、本局・浄水場に通常勤務者以外に24名の職員を特別体制で常駐させ、緊急時の対応に当たります。その他の職員につきましても、トラブルの発生に備え自宅待機します。



悪質業者にご用心!!

最近、市内全域で「水道のほうから来ました」とあたかも水道局から派遣されて来たような表現をして、強引に浄水器を販売したり、水道の蛇口に何らかの器具を取りつけて、高額な代金を請求されるというような被害が発生しています。

水道局では、このような訪問販売は一切行っておりませんので、ご注意ください。

水道局が水質の検査などでお伺いするときは、尼崎市の市章の入った名札をつけ、また身分証明書を携帯しておりますので、ご確認ください。

ご不審に思われた場合は、水道局総務課 (TEL:6489-7402) までお問い合わせください。



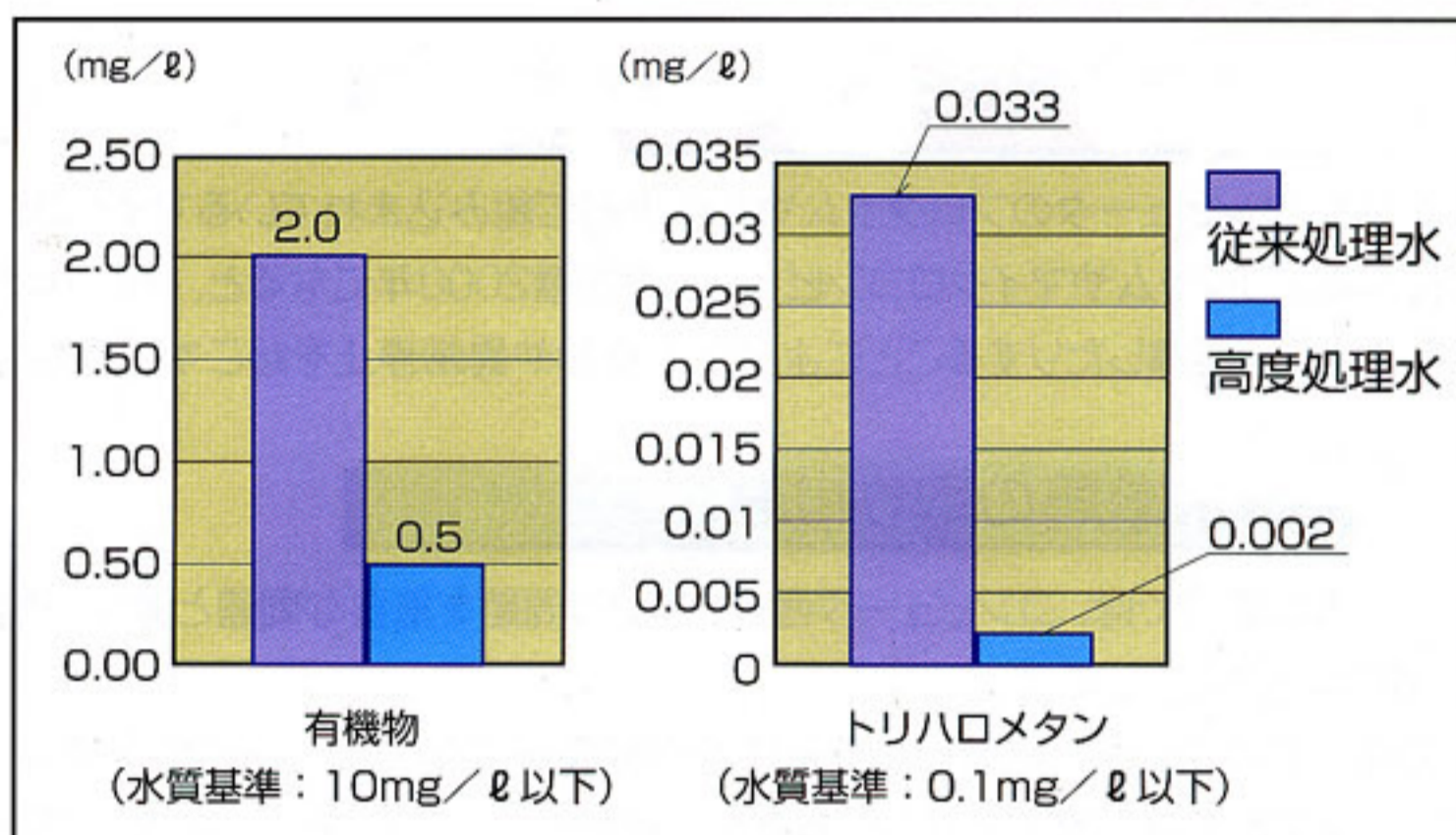
尼崎の水は「安全でおいしい水」です

最近特に、このような悪質な業者が横行したり、ペットボトル入りの水がよく売れている背景には、市民の皆さんの水道水に対する不信感があるものと思われます。しかし、尼崎市の水道水は、従来の処理方法に、オゾン処理と活性炭処理を加えて処理された高度処理水です。

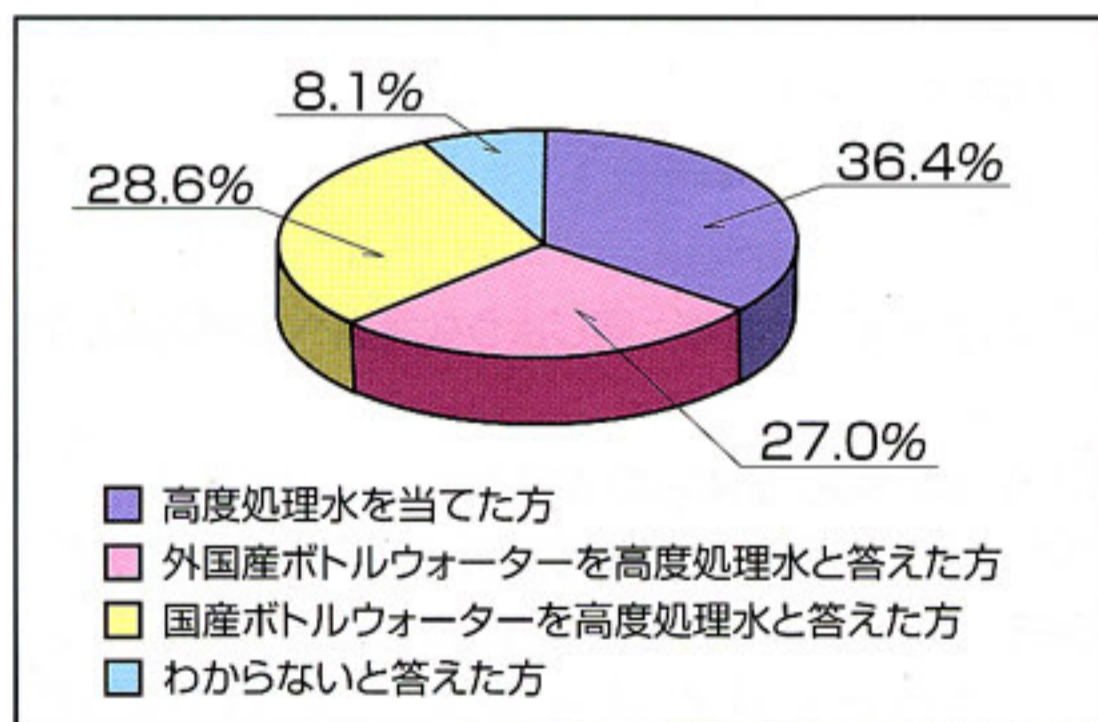
(地域によっては従来処理水が10%程度混ざっているところもありますが、質的にほとんど差はありません。) 水道局がお届けしている水は、皆さんに安心して飲んでいただける良質な水道水です。

水道水は、かび臭やカルキ臭がしてまずいという話をよく耳にしますが、これは水道水に含まれる有機物が原因です。また、トリハロメタンという言葉が聞かれた方もあると思います。この物質は、水道水を造る過程で、消毒のために使用する塩素と水中の有機物の一部が結びついて生成されるもので、発ガン性の疑いがあると問題視されている物質です。

右上の図は、従来処理水と高度処理水に含まれる有機物とトリハロメタンの量を1年間の平均値で比較したものです。



高度処理水は、従来処理水に比べ有機物は4分の1に、トリハロメタンは10分の1以下に減少しています。これを見ていただくと改善効果の大きいことがお分かりいただけると思います。高度浄水処理は、水中の有機物をオゾンで分解し、活性炭でこれを吸着するものですので、高度処理水中に含まれる有機物やトリハロメタンは、従来処理水と比べると大幅に減少しています。



水道局では、高度処理水のPRのため、昨年9月に行われた復興大バザールや交通安全フェスティバルや今年8月に行われた水の週間行事「わくわく水体験」の参加者と、水道モニターさん合わせて698名の皆さんに、高度処理水と比較的よく売れているボトルウォーター (ペットボトル入りの水) 2種とを飲み比べていただき、どれが高度処理水かを当てていただきました。

左のグラフは、その回答の集計結果です。高度処理水を言い当てられた方は約3分の1にしかすぎません。この結果を見ていただければ、高度処理水が味の面でもボトルウォーターにひけを取っていないことがおわかりいただけると思います。

水道局からのお知らせ

ご協力をお願いします

皆様のご家庭の水道メーターは、2か月に1度検針員がお伺いし、検針を行っています。また、水道メーターは、8年ごとに新しいものに取り替えることが義務づけられています。

このため、メーターボックスの上に植木鉢や洗濯機などを置いたり、メーターボックスの周りに犬をつないだりしないよう、皆様のご協力をお願いします。



「水道事業に関する市民アンケート調査」にご協力ありがとうございました

尼崎市内で水道をお使いのご家庭の中から無作為抽出した5000世帯を対象に、10月から11月にかけて、「水道事業に関する市民アンケート」をお送りしましたが、たくさんの方々からご回答をいただき、まことにありがとうございました。

皆さんからご回答いただいたアンケートは、目下全力で集計・分析に取り組んでおります。集計結果はウォーターニュース第8号(次号)で公表する予定です。

